

研究課題番号	1G-2102
研究課題名	ペルフルオロアルキル化合物「群」のマルチメディア迅速計測技術と環境修復材料の開発
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	山下信義

1. 委員の指摘及び提言概要

計画を超える多種の PFAS の測定を可能にする分析技術および大気中の複数種の PFAS の分析技術を開発した上で、特許化、ISO 化に向けた取り組みがなされていることは高く評価できる。さらに開発した技術を用いて地方環境研究所等とのネットワークで全国の実態調査を行ったことを高く評価する。対象は河川水と大気だけであったが、今後はより広い範囲の環境試料（生体試料、土壌、汚泥、海水、海底泥など）での測定が期待される。また、現在懸念されているのは飲料水への PFAS 汚染であり、この問題への対応も期待される。もみ殻を有効利用した吸着材に注目し実用化に向けた検討を実施したことも高く評価する。今回の成果をもとに、社会実装に向け具体的な汚染除去技術および使用後の吸着材の処理技術等の開発が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：S